

あしたの風

第88号

平成31年2月1日発行
編集発行 秋田市教育委員会
生涯学習室

秋田市の生涯学習



身近なくらしの博物館
油谷これくしょん

☆☆ 東部地区 ☆☆

PTA活動と地域との交流

秋田市立旭川小学校

PTA会長 高橋章郎

昨年(平成三十年)十月に毎年恒例の地域振興会の皆さまとの共催活動として「旭川地域クリンウォーク」を開催致しました。

この活動はPTA活動の一つではありますが、子供たちやPTA会員と地域の皆さまとの交流の場として貴重な時間を共有できる数少ない活動です。

年々参加者が増え続け、近年では実に百五十名近い参加者による大規模な清掃活動をさせて頂いております。そして参加者が最も楽しみにしているのが、清掃活動の後に地域振興会の皆様が振舞ってくださるカレーライスをいただくことです。

この活動の良いところは、楽しみながらボランティア活動が出来て尚且つ地域の方々と顔を合わせ交流出来ることだと思います。こういった活動が学校やPTA、そして子供たちと地域との絆をより深いものとし、学校生活における子供たちを取り巻く環境がより良い方向に向かっていくと実感しております。

それは防犯という視点から見ても同じ事が言えます。

普段から地域の皆さんと子供たちがお互いに見知る事で挨拶を交わし明るく元気な地域となり、声かけ事案などを未然に防ぐ効果があると思います。

また見知らぬ人や子供たちの異変に気付く確率

も上がり、それが少しでも防犯に繋がるとPTA活動として大成果と言えるでしょう。参加者一人一人におかれましても、清々しい気持ちで活動に参加されている事と思います。

年々児童の人数が減少傾向にありますが、参加者が増えている事に主催側の人間としてとても嬉しく思います。

今後この清掃活動はPTAと地域の活動として、末永く大切にしていきたいと強く感じております。



地域との貴重な交流時間

☆☆ 西部地区 ☆☆

「秋田市市民サービスセンター乳幼児学級合同事業」を終えて

秋田市学習ボランティア「コスモスの会」

大友敏子

例年より少し遅れぎみの冬將軍が到来した十二月十日、西部市民サービスセンターにおいて、主催の「合同クリスマス会」が開催されました。八地区の乳幼児学級生とボランティアを合わせ、二百二十名程の参加者でした。今年は西部地区が当番との事で、私たちも「なかよし交流会」を担当させていただきました。西部コスモスの会と言ったら、みんなが大好きな「はらぺこあおむし」の



子ども達の素敵な笑顔が宝物

絵巻物が一番人気です。また、今回は、大森山動物園をイメージした親子の手遊びやリズム運動も取り入れながらの交流をしました。

秋田公立美術大学の学生さん達からも、サンタクロースやタイトル看板の制作などの参加協力をしていただき、子ども達との楽しい時間を過ごすことができました。サンタさんから、プレゼントをもらった子ども達の、はつらつとした笑顔は、私たちにとても宝物の一つに思えます。

本番のクリスマスには、もっと素敵な大きな笑顔が見られるように願いながら終えることができました。

また、この「合同クリスマス会」を企画担当していただきました皆様、ご苦労さまでございます。西部コスモスの会も、高齢化となっておりますが、子ども達から元気をもらいながら楽しい時間を過ごしていききたいと思っています。



☆☆ 河辺地区 ☆☆

「せせらぎ塾」について

せせらぎ塾 会長 岩谷保孝

せせらぎ塾は、平成十七年四月に秋田市と旧河辺町の合併時に出来た河辺地区高齢者学級です。

この学級は、会員相互の親睦を図り、知識を高め、健康で明るい生活をおくることを目的にしています。その目的を達成するため、有識者の講演、視察研修、軽スポーツ、懇親会などの事業を実施しております。

事業を行うにあたり、河辺市民サービスセンター生涯学習担当職員の指導や助言をいただきながら、役員十二名で、年五回の役員会を開き、年八回の事業内容を決めて運営しております。

会員は平成三十年、男性十五名、女性四十一名、合計五十六名です。

平成三十年度の事業内容を具体的に紹介いたします。

- 四月 講話「健康寿命日本一」
講師 秋田県庁健康づくり推進課職員
- 六月 講話「異常な気象について」
講師 秋田地方気象台職員
- 七月 歌謡漫芸「唄と踊りと笑いで元気に！」
講師 森吉寿太郎氏
- 八月 映画鑑賞「遙かなる山の呼び声」
山田洋次監督
- 九月 雄和高齢者学級との交流会「グラウンドゴルフ大会」
- 十一月 寸劇「絆」
講師 劇団河辺わさび座

いずれも会員には大変好評でした。尚三十二年二月には「賢い家計管理でお金の不

安解消」をテーマに、秋田県金融広報担当職員からの講話を予定しております。

今後については、会員の高齢化が進んでおり学級の出席率が年間で約六十%くらいとなっているため、学習計画に健康長寿などに役立つ事を取り入れ、会員の皆さんには内容を具体的にお知らせして出席率七十%くらいを目標にしたいと思っています。

又、会員一人一人が知人一人一人に募集の声をかけをして、一緒に学ぶ仲間を一人でも増やしていきたいと思っています。



仲間はどんどん増えていく



事業は大好評

☆☆雄和地区☆☆

「子どもたちに
伝えてあげられるもの」

おはなし会つくしんぼ

代表 金 育 美

平成十七年、旧雄和町が秋田市と合併した年のこと、雄和に暮らすものとして、何か地域の、特に子どものためになることをしたいと思っていたところ、当時の雄和図書館長から「読み聞かせの会を立ち上げて、地域の小学校や保育所で活動してみないか」と声を掛けていただいた。幸い、世は「読み聞かせブーム」で、県が数年にわたって、サポーター養成講座を開催しており、私を始め何人かが受講していた。賛同してくれたメンバーとして小学校、保育所、グループホームなどを訪れて、読み聞かせを行い、すでに十三年もの月日が流れた。

その間、家庭の事情や病気で退会する人がいても、不思議と関心を持った方が入れ替わりに入会する形で、減ることはなく八人で活動が続いている。

若い世代の活字離れが憂えられるようになって久しいが、小学校や保育所の子どもたちと接して感じるの、小さい子どもはみんなお話が、読み聞かせが好きだということ。

知らないお話を聞く、知ることにはわくわくしている様子が手に取るように伝わる。しかし、私たちがのようにどこの誰だか知らないおばさんが月に一回程度、読み聞かせを行っても、感動や喜びはその時限り。これを持続して、お話の世界に遊び、想像力をたくましく働かせて、やがては自分自身の手で本を選び、読んでくれるようになるまでには家庭での読み聞かせが欠かせない。

「うちの子は本を読まなくて」と愚痴る前に、お父さん、お母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、どうかお子さんを膝に乗せて、わくわくどきどきする絵本をたくさん読んであげてください。



子どもたちはみんな読み聞かせが大好き



読み聞かせに関心を持つ人が減ることはない

《連載》社会教育・文化施設等

「ガラクタを集める生き方」

特定非営利活動法人 油谷これくしょん

油谷 満夫

私には、ガラクタを集めるだけの人生と決めた生き方がある。

六十年以上も収集を続けている「油谷これくしょん」は、三十年以上も前からの通称である。平成二十四年にNPO法人となり、総数五十万点のうち二十万点を秋田市に寄附してからは、NPOと個人で別々に保存している。



60年以上にわたるコレクション

そのため、油谷これくしょんと呼ばれるものは、現在、旧・金足東小学校の校舎で公開されている、秋田市が管理する二十万点のモノを指す。収集の日々は貧しく、妻を犠牲にしてのコレクターと口に出すことさえ情けないが、この癖は直りそうもなく、生涯続くことになるであろう。ガラクタ集めを一生の仕事として、どうにか、生きていられるようなもので、馬鹿だなあと自分自身に毎日のように言っている。人には、それぞれの生き方があると思っているものの、私の収集癖は不治の病である。

集まったガラクタは、現代社会人にとっては、無価値のように思われるかもしれない。でも私には、ずっと先の、私がこの世に居ない時代になっても、無価値とは思えない気持ちもあって、あさましいものだ、つい感じてしまう。

収集の日々が続く中で、何も言わぬ妻の顔を見ると、少しは世間なみの家庭を築くことができたらと思ひ、つらく、許してほしいと感じる瞬間もある。しかし、誰かが、先人の暮らしの中の道具を残そうとしないと、庶民の歴史は消えてしまう。歴史とは、過去と現在の対話であると言われるが、過去も現代もスマートフォンが答えてくれるんだといわんばかりに、片手に現代の利器を持った若者が街に溢れている様に見える。

生産原価を不明にしたコスト優先の企業が、世界を握ったように見え、庶民が汗を流して作ったモノが計量化されてしまい、大量に消費・廃棄されてしまう昨今においては、私の手の中にある、ガラクタの声がざわめき続けているようである。

油谷これくしょん

住所 秋田市金足片田字待入二〇九

電話 〇一八・八九三・四九八一

開館時間 午前十時～午後四時

休館日 毎週月曜日、火曜日（月曜日および火

曜日が祝日の場合は開館）

年末年始、特別整理期間（不定期）

見学料 無料



貴重な庶民の歴史

平成三十年度 秋田県公民館連合会表彰

平成三十年十月十二日、湯沢市で開催された第六十八回秋田県公民館大会において、左記の方々が表彰されました。

表彰者

- 中央地区生涯学習奨励員
伊藤 芳高
加賀屋 知子
- 土崎地区生涯学習奨励員
田村 美穂子
- 西部地区生涯学習奨励員
武藤 芳
- 東部地区生涯学習奨励員
永井 文代
折原 和子
佐藤 早苗
- 南部地区生涯学習奨励員
佐々木 治
- 北部地区生涯学習奨励員
相澤 栄子



生涯学習奨励員って・・・

地域における生涯学習を盛んにするためには、住民の身近なところで学習活動を奨励、援助する人が必要です。

生涯学習奨励員は、市町村や各種団体が主催する行事への参加を促したり、楽しい学習事例を紹介したりするほか、市民サービスセンターなどで開催される地域の行事を自ら企画したり、他の企画に進んで参加または応援、協力する等の役割を担っています。

「あしたの風」はどのように配布しているの？

「あしたの風」は年2回（9月と2月）各一、一〇〇部発行し、秋田県の社会教育施設（生涯学習センター、図書館など）や秋田市の社会教育施設（図書館など）、社会教育関係委員（社会教育委員、生涯学習奨励員など）に配布しています。

このほか、市民サービスセンター、地域センター、コミュニティセンターにも配布しています。

ご希望の方は秋田市教育委員会生涯学習室（八八八―五八一〇）までご連絡ください。

編集後記にかえて

平成最後の「あしたの風」も皆様のご協力のもと無事発行することができました。

ありがとうございます。

五月になると、新しい元号に変わります。気持ちを新たに取り組み、多くの皆様に読んでいただけるように、これからも励みたいと思います。

（竹下）

編集委員（秋田市生涯学習奨励員）

- 田村 美穂子（土崎） 佐々木 孝（中央）
- 池田 チヅ子（東部） 相原 和子（西部）
- 乙供 美香（南部） 相澤 栄子（北部）
- 石塚 小枝子（河辺） 竹下 潮子（雄和）

『あしたの風』第88号

発行

平成31年2月1日

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室

秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八―八八八―五八一〇

この広報誌は

単価 一部57円（消費税抜き）

発行部数 一、一〇〇部

配布方法 無料配布